

JR福知山線脱線事故から19年

「責任追及から原因究明へ」

安全で安心して利用できる鉄道をめざす！



4月25日、JR福知山線脱線事故から19年を迎えました。今職場では、安全を軽視する企業体質が様々な形で現れており、懲罰的日勤教育やパワハラなどがおこなわれている実態も明らかになっています。

JR総連は、JR福知山線脱線事故の教訓を再確認し、一切の懲罰的日勤教育やパワハラを許さず、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学の再確立と、「安全で安心して利用できる鉄道」をめざして、組合員とともに取り組みを進めていきます！